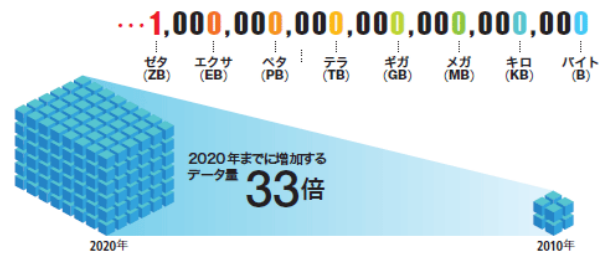


### 保健医療研究は質から量の時代へ

・そして臨床は量から質の時代へ

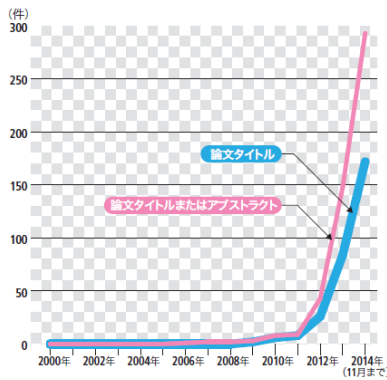
あまねく、均質のサービスが量的に全国各地のあらゆる人々に行き渡ることを目指す時代から、必要な保健医療は確保しつつ質と効率の向上を絶え間なく目指す時代への転換。

### デジタルデータ量は「ゼタ」の時代へ



2010年に全世界で生成・複製されたデジタルデータ量は1200エクサバイト(1エクサバイト=10億ギガバイト)、それが15年には8500エクサバイト、20年には4万エクサバイト(40ゼタバイト)に達する見込み。

### 「ビッグデータ」関連医学論文の動向

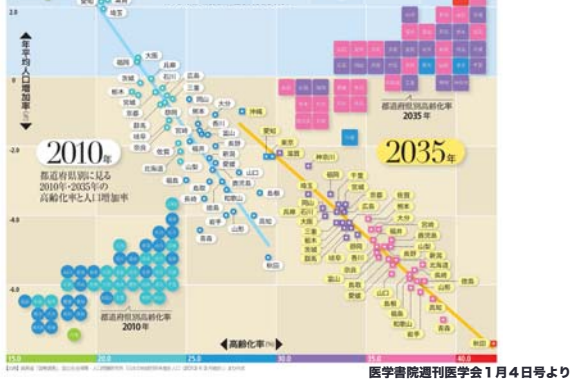


### 医療・福祉は発散から統合の時代へ

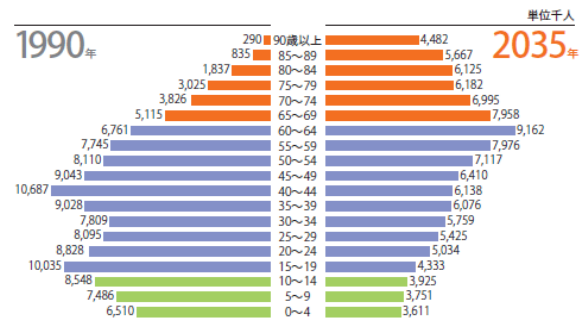
・専門性から相互連携の時代へ

サービスや知見、制度の細分化・専門化を進め、利用者の個別課題へ対応する時代から、関係するサービスや専門職・制度間での価値やビジョンを共有した相互連携を重視し、多様化・複雑化する課題への切れ目のない対応をする時代への転換。

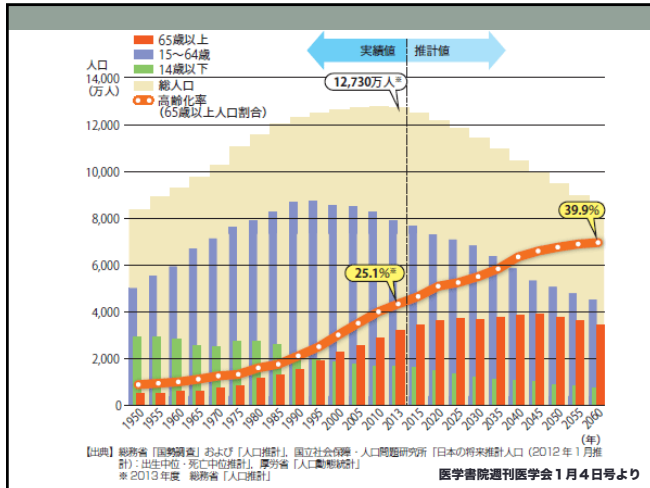
### 人口減少社会に挑む地域医療



### 少子高齢化で大きく変わる人口構造



【出典】1990年：総務省「国勢調査」および「人口推計」  
2035年：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（2013年1月推計）：出生中位・死亡中位推計」  
医学書院週刊医学会 1月4日号より



厚生労働省  
 Ministry of Health, Labour and Welfare

保健医療  
**2035**  
 JAPAN VISION:  
 HEALTH CARE

2035年、  
 日本は  
 健康先進国へ。

保健医療2035提言書  
 平成27年6月  
 「保健医療2035」策定懇談会

2035年、  
 日本は健康先進国へ。

子どもから老年まで、また患者や住民、医療従事者まで、  
 すべての人が安心していきいきと活躍し続けられるように  
 様々な暮らし方・働き方・生き方に対応できる  
 20年先を見据えた保健医療システムをつくる。

急激な少子高齢化や医療技術の進歩など  
 保健医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、  
 日本の経済成長と財政再建にも貢献し  
 ひとりひとりが主役となれる健やかな社会を実現していく。

保健医療 2035

GOAL  
 目標  
 人々が世界最高水準の健康、医療を享受でき、安心、満足、納得を得ることができる  
 持続可能な保健医療システムを構築し、我が国及び世界の繁栄に貢献する。

PRINCIPLES  
 基本理念：新たなシステム構築・運営を進めていく上で基本とすべき価値観・判断基準  
 公平・公正(フェアネス) 自律に基づく連帯 日本と世界の繁栄と共生

VISION  
 2035年の保健医療が実現すべき展望

1  
**LEAN HEALTHCARE**  
 リーン・ヘルスケア  
 保健医療の  
 価値を高める

2  
**LIFE DESIGN**  
 ライフ・デザイン  
 主体的選択を  
 社会で支える

3  
**GLOBAL HEALTH LEADER**  
 グローバル・ヘルス・リーダー  
 日本が世界の  
 保健医療を牽引する